

カタリナ

学報 第52号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2024. 6. 1



聖カタリナ大学第37回

聖カタリナ大学短期大学部第59回

聖カタリナ大学大学院第3回

入学式式辞

学長 坂原 明



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。聖カタリナ大学を代表して、皆さんの入学を心より歓迎いたします。そして、ご来賓の皆様には、ご多忙の中、この良き日にご列席いただき心から御礼申し上げます。また、ご子息、ご息女の皆さんを長年支えてこられたご家族や関係者の皆様に対し、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本日から皆さんは聖カタリナ大学の学生となり、人生の新しいステップを踏み出そうとしています。この式辞では、皆さんが大学生活を始めるにあたり、心に留めておいていただきたい2つのことをお話したいと思います。

まず初めに、本学の建学の精神についてお話ししたいと思います。大学で行われる教育は高等教育と呼ばれ、それは教育制度の中で最高段階の教育であります。そして、大学における高等教育は学問だけではなく、人間の精神的な価値を伝える役割を併せ持っています。私立大学では、その精神的価値は一般に「建学の精神」というものに表されています。建学の精神は、大学がその大学の学生に期待する行動の規範とも言えます。本学は、約800年前、聖ドミニコによって設立された聖ドミニコ修道会に属しています。そして、聖ドミニコ修道会の精神を受け継ぎ、建学の精神として「愛と真理」を掲げています。これは、愛を持って生き、真理を探求するということを意味するものです。

愛を持って生きるとは、簡単に言いますと、思

いやりの心を持って「すべての人々を大切にしながら生きる」ということであります。誰にでも人の好き嫌いというものはありますが、愛を持って生きるとは、好き嫌いということを超えて、個々の人をそれぞれ固有の価値を持ったかけがえのない存在として尊重することです。

言い古された言葉ですが、人間は社会的動物であり、一人で生きていくことはできません。誕生から最期の時まで他者からの有形無形の助けを必要としています。すべての人を大切な存在とする愛は、時と場所を越えた普遍的な価値と言えるでしょう。

また、真理の探究は、大学教育の大きな使命です。物事の本当の姿、そして社会と私たち自身のあるべき姿を自ら考えることが求められています。皆さんが、真理を探究する力を本学で身につけることによって、この世界をさらに素晴らしいものにできることを忘れないでください。本学の学部、学科、大学院は、学問の分野を越えてこの「愛と真理」という建学の精神に基づいて設置されています。学生の皆さんには、学科や専攻の違いにかかわらず、大学生活の中で遭遇する様々な場面において、自分がどのように行動すべきかを、この「愛と真理」という建学の精神に照らし合わせて考えていただければと思います。

そして、この建学の精神を心において生活していくことは、皆さん自身に幸福を呼び込むことに

なると思います。人は自分が誰かの役に立っていると感じる時、自分の存在価値を実感することができます。そして、それを実感する時、人は自尊心を感じるとともに生きる力が湧いてきます。人は、人との関わりの中で幸せを感じます。周囲の人が幸福であればこそ自分も幸福を感じることができます。自分自身、そして周囲の人が幸せになるためには、お互いが手を差し伸べ合って生きることが大切です。本学の建学の精神であるこの「愛と真理」を心に留めながら大学生活を送っていただきたいと思います。

2つ目には大学の授業についてお話をしたいと思います。大学の授業では、予め答えが用意された問題ばかりではなく、ある問題に対して、皆さん自身が答えを出すという授業が多くなってきます。このような授業では、調べたことを単に書き写すだけではなく、問題について自分の視点から深く考え、答えを示すことが求められます。言葉を換えますと、記憶する学習から物事について自分の視点に立って深く考える学習への変化が求められます。そして、そのような学習では、皆さん自らが問い合わせを立て答えを見つけるという態度も求められます。近年では、生成AIによって問題の回答を求めることが広まっていますが、生成AIは、人間のように感情を理解し、解釈や表現する能力はまだ低く、感情が関係する倫理的・道徳的判断に基づく処理を行うことは、難しいと言われています。また、生成AIから正しい答えを引き出すためには、人間自身が適切な質問を考え、問い合わせる必要があります。

考えることは、人間に与えられた大切な能力であり、それは自身で鍛えなければ、低下してしまいます。私たちが暮らしている現代社会は、既存の知識や経験では解決することのできない新しい問題や事態が、次々に起こる答えのない時代と言われています。このような社会で生きる皆さんは、本学での学習を通じて問題や課題について積極的に考えるという態度を身につけ、これから社会を逞しく生きて行く力をつけていただきたいと思います。

最後になりますが、大学生活は学業だけではなく、様々な経験ができる人生でも貴重な時期と言えます。サークルや部活動、アルバイト、長期の休暇を利用した旅行など、学業以外にも色々な経験をして見聞を広めていただきたいと思います。そして、生活面では高校の時よりも自由度が高くなります。それに伴い自分自身をコントロールする強い意志が今まで以上に必要となることも心に留めておいてください。

大学生活は、人生の方向性を定める大切な時間とも言えます。皆さんのが将来に対して抱いている夢は、この2年間または4年間の大学生活をどのように過ごすかということに掛かっています。皆さんに与えられた機会が、充実したものになるよう努力を惜しまないでください。本日から皆さんのが、聖カタリナ大学の学生として誇りを持って学生生活を送ることにより、豊かな知識と豊かな心が皆さんの中に育つことを祈りながら私の式辞とさせていただきます。

ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えます。

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を継続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るために支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。

趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



◆◆ St. Catherine News ◆◆

●2023年度、第36回社会福祉士、第26回精神保健福祉士国家試験結果（新卒合格者数）について

社会福祉士合格者数 2年連続 愛媛県1位、四国1位

（私立大学：受験者10名以上）

2024年2月4日（日）に実施された社会福祉士、2月3日（土）、4日（日）に実施された精神保健福祉士国家試験の結果は以下の通りです。

社会福祉士合格率

80.0%（16名／20名）、全国平均58.1%、新卒者76.8%

精神保健福祉士合格率

85.7%（6名／7名）、全国平均70.4%、新卒者82.5%

（※合格者6名はダブル合格）

今後も、学生一人ひとりに対し丁寧な学習指導、サポートの取り組みを継続いたします。



●健康スポーツ学科 卒業論文発表会の開催

2月9日（金）に健康スポーツ学科合同の卒業論文発表会を開催しました。

4つのゼミナールが参加し、全4セッション14タイトルが報告されました。

当日は入学予定の新1年生、在学中の2、3年生、および他ゼミ所属の学生など、多くの学生が見学に訪れる同時に、質疑応答での有意義な議論も生まれ、充実した雰囲気で発表会を終えることができました。

大学生活の集大成として取り組んだ自身の研究を発表する姿からは、4年間の成長を感じることができました。

ここで身につけた力を卒業後も活かしてくれることを期待しています。

また、その姿を目撃されただろう在学生には、立派な先輩達を越えようとする情熱と向上心を持って、今後の学業に臨んでもらえると何よりです。

今後もゼミナール間で切磋琢磨しながら、多方面から研究に触れる機会を作っていくきます。



●愛媛銀行女子陸上競技部 第1回体力測定会の開催

2月13日（火）に本学記念体育館にて、愛媛銀行女子陸上競技部さんの第1回体力測定会を開催しました。

本測定には、先日の愛媛マラソンにて入賞された3名を含む、5名の選手が参加されました。

本学からは体力トレーニング学を専門とする松本行矢先生をはじめ、運動生理学を専門とする松波勝先生や、スポーツ医学を専門とする鈴木茂久先生にお力添えをいただき、学生も測定員として積極的に参加しました。

ガスマスクを付けて行う“呼気ガス測定”や、専門的な“下肢の筋力測定”、様々な種類の“ジャンプ力の測定”など、全6種目、9項目の体力測定を行いました。

競技力を高めるために、まず現状の体力を把握することが大事になります。

そのためにも、今年からは年に2回ほど、定期的に測定を継続していく予定です。

また、少しずつ活動範囲も広げ、競技力の向上や知見の獲得を基に、その成果を地域に還元していきます。

今後の活動にもご期待ください。



●2023年度卒業証書・修了証書・学位記授与式を挙行

3月15日(金)、北条キャンパスの聖カタリナホールにて、2023年度聖カタリナ大学短期大学部・聖カタリナ大学・卒業証書・学位記授与式、聖カタリナ大学大学院修了証書・学位記授与式を挙行しました。

当日は厳かな雰囲気の中、卒業生・修了生はガウンと角帽で正装して聖歌斎唱や聖書朗読を行いました。その後、坂原学長から各学科の代表者に卒業証書が授与されました。

卒業式を終え卒業生・修了生は希望を胸にキャンパスを巣立ちました。

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの飛躍を心よりお祈りいたします。



●日本赤十字社から人命救助者表彰状を授与されました

3月18日(月)、松山市駅キャンパスにおいて、日本赤十字社人命救助者表彰状の贈呈式が執り行われ、昨年10月24日に松山市駅キャンパス内で人命救助を行った看護学科の学生11名と教員1名に対し、日本赤十字社愛媛県支部河瀬利文事務局長から感謝のお言葉とともに表彰状が贈呈されました。

授賞者を代表して、3年生の繁宗美空さんが「赤十字救急法受講のお蔭で人命救助することができました。将来、多くの人の命を救えるような看護師になるため、今後も勉学に励みたい。」と御礼と決意の言葉を述べられました。



●「現代人間学科（仮称・2025年4月設置届出中）」の設置について

聖カタリナ大学では、2025年4月に開設を目指している現代人間学科について、4月26日(金)に設置届出に関する書類を文部科学省へ提出しましたので、お知らせします。

現代人間学科の特長

現代人間学科の特長は、社会学、データサイエンス・プログラミング、心理学、社会福祉学といった複数分野の多彩な専門知識を身につけることができる点にあります。社会学・社会福祉学を基礎に、心理学の視点も用いて、現代における多様な人間と社会のありようを理解するとともに、それらの抱える諸課題を発見し、統計学やデータサイエンスに関する学びも活用しつつ、その課題の解決を目指して探求することにより、持続可能な地域社会の営みに広く貢献できる人材の養成を目指します。

3コースを横断する学び

「社会・データ」「心理・メンタルヘルス」「ソーシャルワーク」の3コースを設置。

3コースに関する基礎的な授業を1年次に広く受講したうえで、2年次からのコースを選択します。コースを選択した後も、それぞれの興味関心に応じて、他コースの内容についても学べる設定となっており、大学4年間で複数分野の専門知識・スキルを身につけることができます。



社会学や社会調査に関する豊かな学びの蓄積に根ざした文系のデータサイエンス

データサイエンスというと、数学やコンピュータサイエンスに関する理系的な側面が強調されがちですが、社会学や社会調査といった文系的な学びに深く結びついた側面もあります。現代人間学科には、福祉系大学として培ってきた社会学や社会調査に関する豊かな学びの蓄積があることから、文系的な側面に着目したデータサイエンスのカリキュラムを設置しました。数学が得意でなくても、データサイエンスやプログラミングについて基礎から学ぶことができます。

社会学・社会調査を基礎に、データサイエンス・プログラミングに関する学びも活用して、ビッグデータをはじめとする種々のデータを適切に処理・分析することにより、様々なタイプの市場（マーケット）や社会の動向を正確に把握できる人材の養成を目指します。

国家資格のダブルライセンスにチャレンジ

公認心理師と社会福祉士という2つの国家資格の取得を目指すことができます（「心理・メンタルヘルスコース」からのみ）。複数の領域の専門性を持つことで、公務員（心理職・福祉職）、病院・診療所、各種福祉施設、社会福祉協議会等、様々な現場で力を発揮することができます。国家資格のダブルライセンスで進路選択の幅が広がるとともに、施設長等のトップマネジメントへの道も開けます。

めざせる資格・免許

- 数理・データサイエンス・A I 教育プログラム、(リテラシーレベル) 修了証明書（2026年度プログラム認定申請予定）
- データサイエンス・A I 実務パスポート
- IT パスポート（国家資格、対応科目は社会・データコースのみ）
- 社会調査士
- 認定心理士（心理・メンタルヘルスコースのみ）
- 公認心理師（国家試験受験資格「大学における必要な科目」、心理・メンタルヘルスコースのみ）
- 社会福祉士受験資格（国家試験受験資格、心理・メンタルヘルスコースおよびソーシャルワークコースのみ）
- 社会福祉主任用資格
- 介護職員初任者研修修了証明書（希望者は学内講座を受講することにより取得可）

◆◇令和5年度後期行事（R5.10.1～R6.3.31）◇◆

月	日	曜	区	行 事
10	4	水	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議
			短	教授会
6	金	大	第2回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」	
			研究倫理委員会	
7	土		オープンキャンパス	
			キリスト教研究所フォーラム	
10	火		理事長講話（北条キャンパス）	
			教授会	
11	水	大	研究紀要編集部会	
			理事長講話（松山市駅キャンパス）、社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議	
12	木		保育学科会議	
			短	
18	水	大	大学祭パイプオルガン演奏会実行委員会	
			理事会、第3回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」	
19	木		入試判定部会	
			判定入試・募集委員会	
20	金		奨学制度運営委員会、教務委員会	
			教授会、人事委員会	
21	土	短	国際交流委員会	
			入試判定部会	
23	月	大	奨学制度運営委員会	
			国際交流委員会	
24	火		人事委員会	
			教授会	

月	日	曜	区	行 事
10	25	水	人間文化研究所フォーラム、学生生活委員会、教学マネジメント委員会	
			研究科委員会	
27	金	大	大学祭（10/27～10/29）	
			オープンキャンパス with 大学祭（松山市駅キャンパス）	
11	1	水	教務委員会松山市駅キャンパス会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議	
			教授会	
2	木	大	衛生委員会	
			愛媛県私立短期大学協会学長会議	
8	水	大	教授会、選考教授会	
			研究倫理委員会	
9	木		会計監査（中間）（～11/10）	
			第4回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」	
10	金	大	キリスト教研究所フォーラム	
			人事委員会	
14	火	大	社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議、看護学科運営会議	
			国際交流委員会	
17	金	大	奨学制度運営委員会	
			入試判定部会	
18	土	短	国際交流委員会	
			入試判定部会	

月	日	曜	区	行 事
11	20	月		研究紀要編集部会
		大		入試・募集委員会
	21	火		奨学制度運営委員会
		大		教授会
		短		教授会、研究倫理委員会
	22	水	大	研究科委員会
		短		保育学科会議
	24	金		第5回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	25	土		評議員会・理事会
	28	火	大	判定入試・募集委員会（松山市駅キャンパス）
12	29	水		人間文化研究所フォーラム
		大		教授会
	6	水	大	人事委員会、教務委員会松山市駅キャンパス会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議
		短		教授会
	8	金		第6回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	12	火		キリスト教研究所フォーラム
	13	水		教学マネジメント委員会
		大		教授会
	15	金		就職委員会、将来計画委員会、第7回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	16	土	短	入試判定部会
1	18	月	大	入試・募集委員会
	19	火	大	教授会
		短		教授会
	20	水		学内クリスマス、奨学制度運営委員会、遠隔地支援制度部会、入試・募集委員会
		大		選考教授会、社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、人間社会学科会議、看護学科会議、看護学会企画会議
		短		保育学科会議
	21	木		冬季休業開始、人間文化研究所フォーラム、ホビノ・サンミゲル名誉学長記念講演会、精神保健福祉現場実習報告会・連絡会
	22	金		理事会、クリスマス・オープンキャンパス
	26	火		S D研修会
	27	水	短	人事委員会
1	7	日		冬季休業終了
	10	水	大	教授会、選考教授会、人事委員会、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議、教務委員会松山市駅キャンパス会議
		短		教授会、人事教授会
	11	木	大	教職課程委員会
	12	金		第8回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	16	火		奨学制度運営委員会、遠隔地支援制度部会、キリスト教研究所フォーラム
	17	水	大	社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議、看護学科運営会議
		短		保育学科会議
	19	金		第9回愛媛銀行寄付講座「風早の塾」
	24	水	大	社会福祉学科会議、研究科委員会、大学院研究計画発表会
		短		保育学科会議
	26	金	短	人事委員会
	27	土		評議員会・理事会
	31	水		人間文化研究所フォーラム
		大		選考教授会、人事委員会

月	日	曜	区	行 事
2	3	土	大	一般入試
		短		一般入試
7	水	大		入試・募集委員会、ソーシャルワーク実習連絡会・報告会、第1回大学院修士論文発表会、教務委員会松山市駅キャンパス会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議
		短		教授会、人事教授会
8	木	大		研究科運営会議、研究科委員会、判定入試・募集委員会
		大		I R委員会、財務委員会
13	火			キリスト教研究所フォーラム
		大		学長と学生の懇談会（松山市駅キャンパス）
14	水			学長と学生の懇談会（北条キャンパス）、入試・募集委員会
		大		教授会、選考教授会、人事委員会
15	木	大		教務委員会大学部会（北条キャンパス）
		大		教授会
19	月			判定入試・募集委員会
		大		人間文化研究所フォーラム
21	水			社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議、看護学科運営会議
		短		教務委員会、保育学科会議
22	木			理事会
		短		教授会
26	月	大		入試・募集委員会
		大		教授会、選考教授会、人事委員会
27	火	大		研究科委員会
		水	大	
3	2	土		後援会役員会
	5	火	短	スプリングセミナー、初心者のためのピアノ教室
	6	水	大	健康スポーツ学科スプリングセミナー、人間社会学科スプリングセミナー、教授会、人間社会学科会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議
		短		教授会
	7	木	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議、研究倫理委員会
8	金	短		保育学科実習懇談会
		火		キリスト教研究所フォーラム
13	水			教学マネジメント委員会
		大		判定入試・募集委員会
		短		入試判定部会
14	木	大		入試・募集委員会、教授会
		短		教授会
15	金			卒業式
	18	月		奨学制度運営委員会、第三者評価委員会、入試・募集委員会
19	火	大		社会福祉学科会議、看護学科運営会議、社会福祉学科入学期間プログラム
		短		初心者のためのピアノ教室
21	木			春季休業開始
		大		看護学科会議、看護学科運営会議、教務委員会松山市駅キャンパス会議
23	土			評議員会・理事会
	25	月	大	教職課程委員会
27	水	大		研究科委員会
		短		保育学科会議
31	日			春季休業終了

◆◇ 令和5年度卒業生就職等進路状況 ◇◆

令和6年5月1日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業種／学科	就職者数					
	社会福祉	人間社会	健康スポーツ	看護	合計	
企 業	建設／製造	2	4	5	0	11
	情報通信／運輸、郵便	2	6	5	0	13
	卸売、小売	4	17	10	0	31
	金融、保険	1	1	0	0	2
	サービス(宿泊、複合他)	1	17	7	0	25
	その他(電気、不動産他)	0	3	7	0	10
	教育、学習支援	1	0	6	0	7
医療、福祉	医療、保健衛生(病院他)	3	0	0	63	66
	児童福祉施設	2	1	1	0	4
	老人福祉施設	6	0	1	0	7
	障害者福祉施設	1	0	0	0	1
	その他(社会福祉協議会他)	5	0	0	0	5
公 務	国家公務員	0	0	0	0	0
	地方公務員	4	0	1	2	7

【聖カタリナ大学短期大学部】

業種／学科	就職者数	保育
		公立幼稚園
教 育 , 学 習 支 援	私立幼稚園	11
	幼保連携型認定こども園	5
	その他の教育、学習支援業	0
	公立保育所	3
児 童 福 祉	私立保育所・託児所	16
	児童養護施設	0
	その他の児童福祉事業	7
	病院	0
医 療 , 福 祉	その他の福祉、介護事業	0
	卸売、小売	0
	宿泊、飲食サービス	2
企 業	金融、保険	0
	その他(製造、サービス他)	0
	国家公務員	0
公 務	地方公務員	0

就職者数	32	49	43	65	189	
(県内)	(21)	(35)	(28)	(55)	(139)	
(県外)	(11)	(14)	(15)	(10)	(50)	
卒業者内訳	就職希望者数	33	50	43	65	191
	就職率	97.0%	98.0%	100.0%	100.0%	99.0%
	(県内就職率)	(65.6%)	(71.4%)	(65.1%)	(84.6%)	(73.5%)
	進学者数	0	3	2	1	6
	家事・その他	0	3	5	3	11
	卒業者数	33	56	50	69	208

就職者数	44
(県内)	(43)
(県外)	(1)
卒業者内訳	就職希望者数
	44
	就職率
	100.0%
	(県内就職率)
	(97.7%)
進学者数	3
家事・その他	1
卒業者数	48

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職種／学科	就職者数				
	社会福祉	人間社会	健康スポーツ	看護	合計
医療ソーシャルワーカー(MSW)	3	0	0	0	3
精神科ソーシャルワーカー(PSW)	0	0	0	0	0
相談員(社会福祉主事他)	4	0	0	0	4
支援員(知的・身障・児童他)	3	1	1	0	5
介護福祉士、介護職	7	0	0	1	8
その他の福祉専門職(社会福祉士他)	4	0	1	0	5
看護師・保健師	0	0	0	64	64
教員	0	0	3	0	3
事務	5	15	4	0	24
販売、営業	4	23	25	0	52
インストラクター・実践指導者他	0	0	3	0	3
その他(サービス、保安、生産他)	2	10	6	0	18
合計	32	49	43	65	189

【聖カタリナ大学短期大学部】

職種／学科	就職者数	保育
		幼稚園教諭
保育士	19	
その他の教員	0	
社会福祉専門職業(児童厚生員含む)、介護サービス職業	7	
事務	0	
販売	0	
その他(サービス職業、生産工程他)	2	
合計	44	
(保育専門職への就職率)	(95.5%)	

◆◇ 令和5年度教授会議題（後期）◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

令和5年10月11日 第7回

1. 退学について
2. 休学について
3. 除籍について
4. 複籍について
5. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部看護学科の学生募集停止について

令和5年10月24日 第8回

1. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科総合型選抜合格者選考について
2. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科第3年次編入学推薦選抜（指定校・提携校Ⅰ期）合格者選考について
3. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科第3年次編入学一般選抜（Ⅰ期）合格者選考について

令和5年11月8日 第9回

1. 退学について
2. 休学について
3. 学年について

令和5年11月21日 第10回

1. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科指定校推薦選抜（前期）合格者選考について
2. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科専願推薦選抜合格者選考について
3. 2024年度人間社会学科・健康スポーツ学科スポーツ推薦選抜（Ⅰ期）合格者選考について
4. 2024年度人間社会学科・健康スポーツ学科外国人留学生特別選抜（指定校）合格者選考について

令和5年11月29日 第11回

1. 2024年度看護学科指定校推薦選抜合格者選考について
2. 2024年度看護学科公募制推薦選抜合格者選考について
3. 2024年度看護学科園特別推薦選抜合格者選考について

令和5年12月13日 第12回

1. 退学について
2. 編入生の既修得単位認定基準の一部改正について
3. 学長賞表彰者について

令和5年12月19日 第13回

1. 2024年度健康スポーツ学科指定校推薦選抜（後期）合格者選考について
2. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般推薦選抜合格者選考について
3. 2024年度健康スポーツ学科社会人特別選抜（Ⅰ期）合格者選考について

令和6年1月10日 第14回

1. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
2. 聖カタリナ大学教授会規程の一部改正について

令和6年2月14日 第15回

1. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般選抜（A日程）合格者選考について
2. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科共通テスト利用選抜（前期）合格者選考について
3. 2024年度看護学科試験選抜合格者選考について

令和6年2月19日 第16回

1. 卒業判定について
2. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部教務委員会規程の制定について
3. 聖カタリナ大学看護学部教務委員会規程の制定について
4. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部学生生活委員会規程の制定について
5. 聖カタリナ大学看護学部学生生活委員会の制定について

令和6年2月27日 第17回

1. 2024年度人間社会学科一般選抜（B日程）合格者選考について
2. 2024年度人間社会学科第3年次編入学一般選抜（Ⅱ期）合格者選考について

3. 2024年度看護学科共通テストプラス選抜（A日程）合格者選考について

4. 防止等に関する規程の一部改正について

令和6年3月6日 第18回

1. 卒業の認定について
2. 休学について
3. 退学について
4. 転学科について

5. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部研究叢書出版に関する規程の一部改正について

6. 聖カタリナ大学進級規程の一部改正について

7. 聖カタリナ大学人間健康福祉学部履修規程の一部改正について

8. カタリナ・ボランティアセンター規程の一部改正について

令和6年3月14日 第19回

1. 2024年度人間社会学科一般選抜（C日程）合格者選考について
2. 2024年度社会福祉学科・人間社会学科共通テスト利用選抜（後期）合格者選考について
3. 2024年度看護学科共通テストプラス選抜（B日程）合格者選考について
4. 進級判定について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

令和5年10月4日 第7回

1. 退学について
2. 除籍について

令和5年10月24日 第8回

1. 2024年度総合型選抜（Ⅰ期）合格者選考について

令和5年11月1日 第9回

1. 除籍について
2. 2024年度学年について

令和5年11月21日 第10回

1. 2024年度指定校推薦選抜（前期）合格者選考について
2. 2024年度専願推薦選抜合格者選考について

令和5年12月6日 第11回

1. 退学について
2. 学年賞表彰者について

令和5年12月19日 第12回

1. 2024年度総合型選抜（Ⅱ期）合格者選考について
2. 2024年度社会人特別選抜（Ⅰ期）合格者選考について

令和6年1月10日 第13回

報告・連絡事項のみ

令和6年2月7日 第14回

1. 2024年度一般選抜（A日程）合格者選考について
2. 聖カタリナ大学短期大学部教務委員会規程の制定について

令和6年2月22日 第15回

1. 卒業判定について
2. 聖カタリナ大学短期大学部教務委員会規程の制定について
3. 聖カタリナ大学短期大学部学生生活委員会規程の制定について

4. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部ハラスマントの防止等に関する規程の一部改正について

令和6年3月6日 第16回

1. 卒業の認定について
2. 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部研究叢書出版に関する規程の一部改正について
3. カタリナ・ボランティアセンター規程の一部改正について

令和6年3月14日 第17回

1. 2024年度社会人特別選抜（Ⅱ期）（リカレント訓練含む）合格者選考について

力タにゃん
X(旧Twitter)



大学
公式LINE



大学公式
Instagram



※QRコードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。

受験希望
の方



大学HP



保育学科
ブログ



◆◇ 学校法人聖カタリナ学園令和5年度決算概要 ◇◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が43億88百万円（予算比△1億22百万円）、資金支出が44億97百万円（予算比△42百万円）となりました。結果、収支差額△1億10百万円に前年度繰越支払資金21億34百万円を加算し、翌年度繰越支払資金は20億24百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金&いつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出の顛末を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	差 異 (b)-(a)
前年度繰越支払資金	2,134	2,134	—
当年度	資金 収 入	4,510	4,388
	資 金 支 出	4,540	4,497
	取 支 差 額	△30	△110
翌年度繰越支払資金	2,104	2,024	△80

■ 2. 事業活動収支決算

事業活動収支決算は、事業活動収入が43億58百万円（予算比+9百万円）、事業活動支出が44億81百万円（予算比△26百万円）となり、基本金組入前当年度収支差額は△1億22百万円（予算比+35百万円）となりました。同差額より基本金を組み入れた結果、当年度収支差額は△3億46百万円（予算比+38百万円）となり、翌年度繰越支差額は△65億77百万円（予算比+38百万円）となりました。

■事業活動収支計算書：当該会計年度の事業活動収入（学校の負債となる収入）及び事業活動支出（現預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含む）の内容を表すとともに、基本金組入前及び基本金組入後の収支均衡状態を明らかにします。一般企業会計の「損益計算書」に当たります（右表は総括様式）。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	差 異 (b)-(a)
事業活動収入計 ①	4,349	4,358	9
事業活動支出計 ②	4,507	4,481	△26
基本金組入前当年度 収支差額 (①-②)	△157	△122	35
基本金組入額合計	△227	△224	3
当年度収支差額	△384	△346	38
前年度繰越支差額	△6,231	△6,231	—
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越支差額	△6,615	△6,577	38

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末（令和6年3月31日）において、資産の部は161億21百万円、負債の部は26億94百万円、純資産の部（正味財産）は134億27百万円（基本金200億4百万円と繰越支差額△65億77百万円の合計額）となりました。

■貸借対照表：一定時点（本学は3月末現在）の資産、負債、純資産（基本金・繰越支差額）の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

* 学校法人会計基準について * * * * *

学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公益性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過分な設備投資や場当たり的な運営を続けていたり、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招き、場合によっては、存続すら危うくなってしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法第14条に基づき、「文部科学大臣の定める基準に従い、会計処理を行い、貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成しなければならない」とされています。なお、学校法人会計基準の一部を改正する省令（平成25年4月22日文部科学省令第15号）が平成27年4月1日に施行され、平成27年度以降の予算・決算に適用されています。* * * * *

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	13,873	14,111	△238
流动資産	2,248	2,313	△65
資産の部合計	16,121	16,424	△303
負債の部			
固定負債	2,034	2,179	△144
流动負債	660	696	△36
負債の部合計	2,694	2,875	△180
純資産の部			
基本 金	20,004	19,780	224
繰 越 収 支 差 額	△6,577	△6,231	△346
純資産の部合計	13,427	13,549	△122
負債及び純資産の部 合計	16,121	16,424	△303

◆◇ 人 事 ◇◆

《令和5年11月8日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 長尾 敏江

《令和5年12月1日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 松原 直美

《令和6年1月31日付け》

【退職】

(北条キャンパス)

就職課

係長 高市 恵

《令和6年3月31日付け》

【退職】

(北条キャンパス)

人間健康福祉学部

教授 松波 勝

教授 高橋 永子

教授 軸丸 清子

教授 岡田 純也

保育学科

教授 大野 裕司

助教 谷口 聖

事務部局

事務局長 中村 和也

会計課

課長補佐 山口 慶子

図書課

課長補佐 山口 慶子

(松山市駅キャンパス)

看護学科事務部局

図書課

事務職員(非) 山本 香織

事務職員(非) 野田 亜希

看護学科

実習助手(非) 戸高 理恵

実習助手(非) 豊崎 陽子

実習助手(非) 門田 聖子

実習助手(非) 松原 直美

《令和6年4月1日付け》

【新規採用】

(北条キャンパス)

人間健康福祉学部

教授 関谷 由香里

教授 山本 万喜雄

保育学科

教授 藤井 澄子

助教 忽那 啓子

図書課

事務職員 野田 亜希

会計課

事務職員(非) 大野 泰彦

技術職員(守衛)(非) 上甲 仁

技術職員(巡回)(非) 松本 和弘

(松山市駅キャンパス)

看護学部

教授 中平 洋子

看護学科事務部局

図書課

事務職員(非) 稲葉 沙也香

(10Pへ続く)

【昇任】	看護学科事務部局	総務課	《令和6年4月23日付け》
(松山市駅キャンパス)	係長 山内 理恵子	主任 鎌田 聖菜	【退職】
看護学部	法人事務局	入試課 ヘンスリー 美絵	(北条キャンパス)
教授 二宮 寿美	会計課	事務職員 渡辺 純華	会計課
教授 川島 美保	課長補佐 永木 教史	会計課	事務職員 松本 央子
准教授 寺尾 奈歩子	庶務課	事務職員(非) 高橋 聖子	《令和6年5月1日付け》
事務局長 武知 浩二	係長 坂口 綾	図書館分館	【新規採用】
教務課 主任 橋本 香央里	会計課 課長補佐 重松 映美	事務職員(非) 黒田 梨乃	(北条キャンパス)
		入試課	事務職員(非) 松中 笑子

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学看護学部看護学科 看護学部長 教授 西田 佳世

地域に届け！ S C U で育む看護の力

2024年4月、聖カタリナ大学松山市駅キャンパスに看護学部が新設され、松山市駅キャンパスは、大学院看護学研究科と看護学部をもつ看護学を探求する知の拠点となりました。

キャンパス内は、それぞれに未来への希望を抱き、日々、看護学と向き合っている学部生と大学院生で溢れ、とてもぎやかです。

ここで簡単に、聖カタリナ大学（S C U）看護学部が新設されるまでを振り返ってみます。私は、2016年4月に本学に着任し、翌年に迫った看護学科設置にむけ、夢を現実にするための日々が始まりました。建学の精神を大切にし、愛をもって人とかかわることができるあたたかな看護職を育て、地域に貢献できる学科にするためには、どのような準備が必要か、どのように進めていくか。医療モデル優先ではなく、生活モデル優先に組み立てた教育課程を編成し、看護の原点回帰ともいえる地域包括ケアを軸に、地域で生活する人々とともに歩み、成長できる看護職になってほしい。そして、2017年4月、看護学科が松山市駅キャンパスで産声をあげました。新しい視点での教育課程は、学内での講義・演習科目、そして臨地実習においても定着するまでに一波乱、二波乱がありました。何度も教員間で話し合い、また臨地実習の担当者と協議し、そして、学生の学びや変化に目を向けながら教育に取り組みました。開設当初は他に例がない組み立て方ではありましたが「これから地域包括ケアを担うことができる看護師・保健師を養成する」という看護学科設置の信念を貫き、時代のニーズを見越した教育を一丸となって進めました。2022年度からは全国で第5次カリキュラム改正による看護基礎教育が始まり、その改正の軸は「地域包括ケア」「生活モデルへの変換」でした。その頃は既に、本学の学生や教員には、この考え方方が浸透しており、卒業生も輩出しておりました。そして、学部生の成長を頼もしく感じながら2022年4月には本学園初の大学院看護学研究科を

松山市駅キャンパスに設置することが叶い、2024年3月には大学院第1期生が巣立ちました。大学院では、学部教育で大切にしてきた地域包括ケアの深化を軸に、地域包括ケアの推進と構築を支える研究的視点を身につけた上で地域において専門性を生かしたケアを構築できる高度専門職業人を育成することを大切にしています。そしてこの度、人間健康福祉学部看護学科の誕生から8年目に看護学部看護学科が新設され、S C Uは来年誕生予定の健康社会学部と看護学部の2学部体制になります。

来年、聖カタリナ学園は100周年を迎えます。その中で、S C Uは地域にある大学として、地域の人々の健康に目を向け、地域に求められ、地域に貢献できる人材の育成という大切な役割を2学部が強力なタッグを組み担ってまいります。松山市駅キャンパスは看護学の教育研究拠点としての責務を果たしながら、看護の側面から地域のニーズに応え、地域に貢献できるあたたかな心と確かな看護の力を身につけた看護職の拠り所として、地域の方々に愛される存在であり続けたいと思います。



松山市駅キャンパス周辺の町内会のみなさまにご協力いただき、3年生の老年期の看護Ⅲの中で介護予防教室を開催いたしました

聖カタリナ大学・短期大学部学報

〒 799-2496 愛媛県松山市北条660番地

T E L. 089-993-0702(代)

<https://www.catherine.ac.jp>

編集・発行

広報委員会

kouhou@catherine.ac.jp